

年 表

年(西暦)	事 項
明治43年 (1910)	上水道創設事業認可(利府町春日湧水2,400m ³) 上水道創設事業着工
45年 (1912)	上水道創設事業給水開始(事業費160千円) 水道料金(家庭用1石、1銭57厘)
昭和 3年 (1928)	第一期拡張事業認可(七北田川水系13,600m ³ /日) 第一期拡張事業着工
7年 (1932)	第一期拡張事業竣工(事業費799千円)
24年 (1949)	仙台市と分水協定を締結(200m ³ /日) 多賀城村の要請により下馬及び笠神地区に給水 第二期拡張事業着工(七北田川水系増強) 笠神、牛生地区の一部を塩竈市に編入
27年 (1952)	第二期拡張事業認可(七北田川水系増強) 地方公営企業法施行
28年 (1953)	地方公営企業法施行に伴い水道事業所となる
32年 (1957)	水道法施行(12月14日から施行)
33年 (1958)	第二期拡張事業完成(事業費263,292千円) 第三期拡張事業認可(大倉川水系30,000m ³ /日) 多賀城町下馬及び笠神地区を本市の給水区域として厚生省に届出 第三期拡張事業着工 水道創設50周年記念式典挙行 第三期拡張事業の仙台市、塩竈市共同導水管建設についての協定調印
34年 (1959)	水道部庁舎完成
38年 (1963)	仙台市、塩竈市大倉川水系共同導水管路の維持管理協定調印 第三期拡張事業給水開始(大倉川水系30,000m ³ /日) 七北田川水系13,600m ³ 取水休止
40年 (1965)	上水道用水分水協定(多賀城町へ1,000m ³ /日分水)
41年 (1966)	上水道用水分水協定(利府村へ100m ³ /日分水)
43年 (1968)	第三期拡張事業竣工(事業費1,387,248千円)

年(西暦)	事	項
昭和44年 (1969)	配水管整備事業着工	
	大倉ダムから国見浄水場間の共同導水管破裂 (仙台市約8万戸、塩竈市約1万4千戸断水)	
46年 (1971)	浦戸簡易水道の上水道編入	
47年 (1972)	配水管整備事業竣工(事業費337,365千円)	
	第二次配水管整備事業着工	
48年 (1973)	導水管整備緊急事業着工	
	異常渇水により平均30%給水制限実施	
49年 (1974)	新浜浄水場竣工(工業用水浄水施設10,000m ³ /日)	
	水道事業経営変更認可(水源種別の変更・七北田川水系13,000m ³ /日、七北田ダム参加)	
	浄水場排水処理施設整備事業着工	
	上水道用分水協定(七ヶ浜町へ1,500m ³ /日分水)	
51年 (1976)	水道加入金制度新設	
	多賀城市への分水中止	
	浄水場排水処理施設整備事業のうち梅の宮浄水場分竣工(事業費441,340千円)	
	塩竈市上水道有効率向上対策懇談会発足	
53年 (1978)	第三次配水管整備事業着工	
	七北田ダム起工式(本体工事着工)	
	宮城県沖地震 マグニチュード7.4 (災害対策本部設置、水道施設被害 155,814千円)	
54年 (1979)	七北田川水系の水利使用許可(期限:昭和63年度)	
55年 (1980)	第二次配水管整備事業竣工(事業費 1,035,434千円)	
	導水管整備緊急事業竣工(事業費 387,317千円、溶接箇所2,320ヶ所補強)	
56年 (1981)	七ヶ宿ダム着工	
57年 (1982)	浄水施設改良事業着工	
	水道創設70周年記念式典挙行 「塩竈の水道70年のあゆみ」(小冊子)を発行	
58年 (1983)	泉・塩竈地区水道水質検査協議会設立 (2市4町で水道水質検査事務を共同処理)	

年(西暦)	事 項
昭和59年 (1984)	利府町への分水中止 水道部庁舎取得 (旧郵便局跡、土地1,664.11㎡・建物1,608.61㎡・150,000千円で取得) 第三次配水管整備事業竣工(事業費 934,310千円) 第四次配水管整備事業着工(7ヵ年計画) 水道部庁舎移転(新富町21番23号)
60年 (1985)	七北田ダム建設竣工(本市負担額4.4% 1,392,217千円)
61年 (1986)	浄水施設改良事業竣工(事業費 123,565千円) 導水管整備事業着工 8.5豪雨(塩竈394mm/日)で被害 仙南・仙塩広域水道受水団体連絡会設立(17市町)
63年 (1988)	窓口オンライン稼動
平成元年 (1989)	七北田川水系水利使用許可(更新、期限:平成10年度) 塩竈市水道事業設置条例改正 (計画1日最大給水量 54,500m ³ /日、計画給水人口 74,800人)
2年 (1990)	泉・塩竈地区水道水質検査協議会廃止 水道事業経営変更認可(目標年度 平成22年度、計画1日最大給水量54,500m ³ /日、計画給水人口 74,800人) 仙南・仙塩広域水道用水供給事業供給開始(本市平成2年度 500m ³ /日受水) 水道水質検査委託契約(水質検査を仙台市水道局に委託) 七ヶ浜町への分水中止
3年 (1991)	七ヶ宿ダム竣工
4年 (1992)	開発負担金制度新設
6年 (1994)	仙南・仙塩広域水道用水供給事業の供給料金改定 (基本料金 1,032円/月、使用料金 53円/m ³) 塩竈地区水道事業連絡協議会設立
7年 (1995)	阪神淡路大震災(兵庫県南部地震)マグニチュード7.2 (水道施設復旧工事応援、2月16日～23日、職員2名、管工事業協同組合5名合計7名派遣)

年(西暦)	事 項
10年 (1998)	第四次配水管整備事業完了(事業費4, 829, 663千円) 第五次配水管整備事業着工(10ヵ年計画)
11年 (1999)	七北田川水系の水利使用許可(更新、期限:平成20年度)
12年 (2000)	水道部長期総合計画策定(平成13年から22年度までの10ヵ年計画)
14年 (2002)	塩竈市水道部災害対策計画策定(震災対策編)
15年 (2003)	塩竈市団地水産加工業協同組合が使用する生産用水の供給開始
16年 (2004)	梅の宮浄水場排水処理棟耐震補強工事完了 水道部イメージキャラクター「シオンちゃん」誕生
17年 (2005)	水の森水管橋耐震補強工事完了 老朽管更新事業着工(10ヵ年計画) 藤倉PC配水池築造工事着工
18年 (2006)	災害時初動対応マニュアル策定 水道事業経営改善推進計画策定(平成18年から22年度までの5ヵ年計画) 水道料金の支払いにコンビニエンスストアによる支払い導入 仙塩地区管工事業協同組合と「災害時における応急復旧活動等に関する協定」の調印 水道庁舎耐震補強工事完了 藤倉PC配水池築造工事完了
19年 (2007)	登米市配水濁度上昇に関する事故に伴う給水応援
20年 (2008)	第五次配水管整備事業完了 第六次配水管整備事業着工(9ヵ年計画) 仙南・仙塩広域水道漏水事故に伴う給水応援(山元町) 岩手・宮城内陸地震に伴う給水応援(マグニチュード7.0、最大震度6強) ペットボトル水「しおがまの水道水」の製造 七北田川水系水利使用許可(更新、期限:平成30年度)
21年 (2009)	塩竈市水友会と「退職者災害時給水応援協定」の調印
22年 (2010)	チリ中部沿岸地震津波により海底配水管被災 (浦戸石浜～野々島間、SP D=125mm L=277m) 梅の宮浄水場管理棟耐震補強工事完了

年(西暦)	事 項
23年 (2011)	<p>東日本大震災発生 (3月11日、本震マグニチュード9.0 震度6弱～7) (4月 7日、余震マグニチュード7.4 震度6強) 東日本大震災に伴う給水応援(多賀城市、石巻市、南三陸町)</p> <p>水道事業基本計画策定(平成23年～32年度の10ヵ年計画)</p>
24年 (2012)	<p>水道事業100周年記念事業実施</p>
25年 (2013)	<p>浦戸海底配水管通水式(石浜－野々島工区・野々島－寒風沢工区)</p>
25年 (2013)	<p>水道事業料金徴収等関連業務委託開始 (塩竈市水道お客さまセンター開所)</p> <p>山形県村山市大雨断水による給水応援(期間:5日間、延従事職員:31名)</p>
26年 (2014)	<p>浦戸海底配水管通水(野々島－朴島工区)</p> <p>加圧式給水車の導入</p> <p>第一環境株式会社と「災害時における応援協定」の調印</p>
27年 (2015)	<p>梅の宮浄水場運転管理等業務委託開始</p>
28年 (2016)	<p>株式会社明電舎と「災害時における応援協定」の調印</p>